

1. 次世代に語り継ごう！ 淀川歴史散歩調査研究委員会

淀川区では、平成19年から5年にわたり、「淀川の歴史散歩」を、毎年1回、近大姫路大学教育学部の松下正和先生を講師に、各地域の歴史に触るまちあるきを実施しており、その中で淀川区内には、多くの豊かな歴史が存在することを認識しました。

それらの貴重な地域遺産をより広くみなさんに知っていただき、まちづくりに活かしていただくとともに、次世代を担う子どもたちに語り継ぎ、自分が住む地域に愛着と誇りをもって育んでいただくことが大切であると考えました。

2. 区政を身近に感じてみませんか？車座会議へどうぞ！

10月2日、淀川区役所でレインボーフラッグ除幕式が行われた後、ご参加くださったみなさんと[区長との車座会議](#)を開きました。もちろん、テーマはLGBT。

今回の車座会議の目玉はそれだけではありません。都島区の田畑区長と阿倍野区の羽東区長も参加して3区長合同の開催となりました。

田畑区長も羽東区長も海外での生活経験があり、多様性の文化に慣れ親しんでいるだけに、今後それぞれの区でどのような取組を行っているのかについての熱弁に、参加者



そして平成24年9月、これまでの学習成果と新たな情報を加え、淀川区の歴史資料の提供ができるよう「自主的に地域の歴史を研究し、今後のまちづくりにつなげていく」区民の方を公募し、平成27年3月までの任期中で「淀川歴史散歩調査研究委員会」を松下先生と8名の委員により発足しました。各委員（現在12名）が得意分野の調査研究を進めるとともに、ほぼ毎月1回委員会を開催し、資料提供に向けた検討を行っています。

また、これまで「三国地域」「中国街道」「中津川」をテーマに、3回にわたるフィールドワークを行い、地域の方の貴重な資料を拝見したり、お話を聞きながら新たな発見も多く生まれてきています。

成果として、平成26年の春頃には、委員会でまとめた「淀川歴史散歩ダイジェスト版」を発行する予定にしています。



の方々は熱心に耳を傾けていました。

参加者のLGBT当事者の方から、「自分を偽らないでいい場所が欲しい」「もっと自分たちのことを知って理解してもらいたい」といった熱い想いが込められた言葉もありました。

「もっと多くのLGBT当事者の方が参加できるような時間帯でまた車座会議をしてほしい」とのご意見をいただきました。またその機会を設けたいと思います。

みなさん、これからの淀川区役所の動向を要チェックですよ！